



MasteスピードコントローラーはHackerブラシレスモーター、またその他ブラシレスモーターに幅広く対応する、新世代センサーレススピードコントローラーです。その最新プログラムはモーターシステムのパワーとパフォーマンスを最大限に引き出します。また、非常に優れたパワー効率にもかかわらず、軽量化とコンパクトサイズを実現しました。スピードコントローラーのベストパフォーマンスと信頼感を得る為にはハイオリティなコネクタ、モーターバッテリーの使用が不可欠です。スピードコントローラーとモーターのご使用前に、必ず以下の取扱い説明を十分に注意しながらお読み下さい。

RCカー専用コントローラー共通説明書

- < MASTER CAR SPORT 8ターン以上対応 >
- < MASTER CAR COMPET IT DN 6ターン以上対応 >

MASTER CAR SPORT  
 カレント:66A  
 セル数:6~12セル  
 サイズ:66x31.5x29mm  
 重量:77g

MASTER CAR COMPET IT DN  
 カレント:111A  
 セル数:6~12セル  
 サイズ:66x31.5x29mm  
 重量:77g

取扱いの注意

- \* コネクタの接続には注意してください。逆接は動力ユニットにダメージを与えます。また、タイプの違うコネクタもご使用になれません。
- \* 受信機のリードが正しいタイプのもが確認してください。

対応タイプ	フタバ	JR	KO	サンワ
シグナルワイヤー	白	オレンジ	白	ブルー
プラスワイヤー	赤	赤	赤	赤
マイナスワイヤー	黒	ブラウン	黒	黒

ユニット取扱いの注意

- \* バッテリーやモーターワイヤーのコネクタの取り付けには必ずハンダ付けを行って下さい。
- \* バッテリーワイヤーはできるだけ短くして下さい。最長で15cmまでとなります。
- \* バッテリーワイヤーの接続に際し、極性を間違えないで下さい。逆接しますとスピードコントローラーにダメージを与えます。
- \* 絶対にパワーサプライを電源として使用しないで下さい。パワーサプライ、スピードコントローラーにダメージを与えます。
- \* バッテリーワイヤーと同様にモーターワイヤーもできるだけ短くして下さい。ターミナルには金メッキ加工の施されたプラグが最適です。
- \* 受信機はできるだけ動力ケーブルから離して固定して下さい。電波障害のトラブルを軽減します。
- \* テストを行う際は必ずテスト用ベンチ等にしっかりと固定して下さい。
- \* 各モーターワイヤーは確実に絶縁して下さい。もし、接触しますとショートする恐れがあり、スピードコントローラーにダメージを与えます。
- \* モーターの回転方向を変更したい場合、3本のモーターワイヤーのうち2本だけを差し替えることで変更ができます。
- \* マイクロサーボ(デジタルマイクロサーボなど特殊なもの)は大電流を要し、BEC機能のみでは複数のサーボの使用に対応できない場合があります。

設置について

- \* スピードコントローラーとモーターの接続には適切なワイヤー、コネクタを使用して下さい。
- \* スピードコントローラーは通風の良い場所にマウントしてからモーターはスピードコントローラーに、受信機用コネクタリードは受信機に接続して下さい。

スタートアップ

- \* 送信機のスイッチを入れ、スロットルレバースと舵角を100%の位置にしてください。
- \* スロットルトリムをセンターに合わせて下さい。
- \* バッテリーとスピードコントローラーワイヤーの極性を良く確かめて下さい。この時必ずスピードコントローラーのスイッチをOFFにして下さい。
- \* バッテリーをスピードコントローラーに接続し、スイッチを入れます。この時、一気に接続し、何度も接触させないで下さい。(BECなしスピードコントローラーの場合は受信機に電源バッテリーを接続して下さい。発音音がスピードコントローラーから鳴ります。この発音音が鳴るまでスロットルを動かさないで下さい。もし、発音音が聞こえなかった場合はスピードコントローラーのスイッチをOFFにし、電源バッテリーを外して再度、同様の手順でやり直して下さい。
- \* やり直しても発音音が鳴らない場合は以下の点をチェックして下さい。 ・コネクタの極性が合っているか？ また、接続が正しく行われているか？ ・スロットルスティックの位置が正しいか？ ・バッテリーが充電されているか？ ・BECなしスピードコントローラーの受信機用バッテリーが取り付けられているか？
- \* スピードコントローラーのスイッチを入れた時、発音音が1回の場合、スピードコントローラーがあなたの送信機を測定済みという事を表します。
- \* もし、スイッチをOFFにし、再度スイッチを入れても、電源バッテリーを外していない場合は測定確認の発音音はなりません。

前進 / ブレーキまたは前進 / ブレーキ 後進モードのセッティング方法

- \* スピードコントローラーは出荷時、前進 / ブレーキモードにセットされています。モードを変更したい場合は以下の手順を行って下さい。

送信機のスイッチをONにします。  
 バッテリーを接続して下さい。  
 スロットルを前進最大の位置にします。  
 スピードコントローラーと受信機のスイッチをONにします。  
 秒間待ちますと連続的に複数のトーン音を聞くことができます。  
 それから、直ちにスロットルをニュートラルにしますと複数のトーン音が鳴ります。  
 これで前進 / ブレーキ 後進モードに変更完了です。

- \* 変更後はスピードコントローラーに記憶され、バッテリーをはずしてもこの設定は変わりません。
- \* 再度バッテリーを接続し、スピードコントローラーのスイッチをONにした時、確認の発音音が1度もしくは2度聞こえます。1度の場合、前進 / ブレーキモードに設定されています。2度の場合、前進 / ブレーキ 後進モードに設定されています。モードの切り替えを行いたい場合は上記の手順で再度設定をやり直して下さい。

Masteカースピードコントローラーは他のタイプのブラシレスモーターに対してもタイミングを調節する事で使用可能となります。タイミングは4段階で調節ができます。

- \* タイミング 1 (工場出荷時の設定) - タイミング 2度から5度です。 Hackerブラシレスモーターに最も有効なセッティングです。また、その他の2極モーターにも推奨します。
- \* タイミング 2 ----- タイミング 10度に該当します。 2極モーターにはハードなタイミングとなります。 4極モーターに最も適合します。
- \* タイミング 3 ----- タイミング 18度に該当します。 6極のモーターに最も適合します。
- \* タイミング 4 ----- タイミング 30度に該当します。 6極モーターまたはそれ以上の多極モーターに最も適合します。

タイミングのセッティング方法

- 製品に付属の説明書をご覧ください。 \* 選択したいタイミングモードを表すトーン音が鳴っている間に引いているスロットルをニュートラルの位置に戻します。(例、2回のトーン音が5度鳴っている間にニュートラルに戻しますとタイミング2に設定されます。)

周波数のセッティング方法

- 製品に付属の説明書をご覧ください。 \* この後に、前進 / ブレーキまたは、前進 / ブレーキ 後進モードの設定に合わせ発音音が、1度または2度聞こえます。これでタイミングの設定も含めた、スピードコントローラーのセッティングがほぼ出来ました。また、このMasteスピードコントローラーでは3種類の周波数を設定可能です。

- \* この後にMasteスピードコントローラーのカレントリミッター設定に移ります。

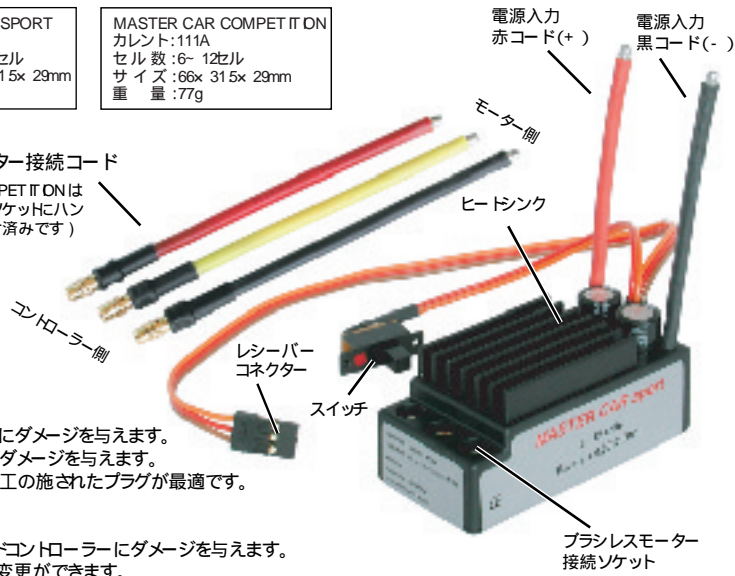
カレントリミッターのセッティング方法

製品に付属の説明書をご覧ください。

Masteスピードコントローラーは以下の状態になりますとスイッチOFFになります。

- \* バッテリーパックが5.3Vまたは各セルが0.7Vを下回った場合
- \* 使用中にスピードコントローラーが110 に達した場合
- \* 正しい電波を1秒間以上受信出来なかった場合

本製品の使用方法、取り付け、使用にもなう損害に対しては保障致しかねます。また取り付け、使用にもなう結果的な損害に対しては、使用者本人がすべての責任を負うものとします。保証義務の上限はスピードコントローラーの購入時の仕様への修理までとなります。修理の詳細につきましては裏面をご覧ください。



\* 詳細は裏面をご覧ください。モーターを逆転する場合は、モーター接続用の赤コードと黒コードを逆にしてモーターへ接続します。